

税理士会の要望実現のために活動しています

近畿税政連

第195号

平成25年12月10日

発行所 近畿税理士政治連盟 発行人 大高友紀 編集人 後安宏彦
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



嵐山 渡月橋（京都府京都市）

撮影：吉田和之（右京支部）

焦点

非常に忙しい1年だった。税政連は、1月10日の税理士法改正の一斉陳情から絶えることなく活動を行ってきた。そして1月24日に平成25年度与党税制改正大綱が公表された。その第三検討事項において、「…税理士法の改正を視野に入れて、その見直しに向けて引き続き検討を進める」とされた。一定の成果はあったものの、平成25年国会への上程は事実上見送られることになった。

その後、平成26年の国会への上程を目指して活動を行ってきた。それは、機関紙「日本税政連」「近畿税政連」を読み直していただければわかる。そして、税政連の活動は、やみくもに行っているのではないことを、是非理

解していただきたい。

機関紙近畿税政連第192号・194号そして本号において、「法律が出来るまで」を掲載してきた。特に194号においては、高市早苗衆議院議員からいわゆる議員立法について投稿していただいた。深く感謝を申し上げる。これらの記事を再度読み直すと仕組みあるいは流れを理解していただける。

税政連は、この仕組みに関連する行政及び政党・国会議員等に陳情等を行ってきた。この他、記事に掲載していないが、自民党税理士制度改革推進議員連盟など多数の関連する団体などにも対応してきた。12月の政府の税制改正大綱に税理士法改正をすると記載され、平成26年の国会に上程されることを強く願うものである。

法律ができるまで ～その2～

●法律案の原案作成

内閣が提出する法律案の原案の作成は、それを所轄する各省庁において行われます。各省庁は、新たな法律の制定の方針が決定されると、法律案の第一次案を作成します。この一次案を基に関係する省庁との意見調整等を行います。更に、審議会に対する諮問又は公聴会における意見聴取等を必要とする場合には、それらの手続きを済ませます。そして、法律案提出の見通しがつくと、その主管省庁は法文化の作業を行い、法律案の原案が出来上がります。

●内閣法制局における審査

法律案の原案は、すべて内閣法制局における予備審査が行われます。内閣法制局における審査は主管省庁で立案した原案に対して、憲法や他の現行の法制との関係、立法内容の法的妥当性や条文の表現等が適当であるかなどについて、法律的・立法技術的に検討されます。予備審査が終了すると、国務大臣から内閣総理大臣に対し国会提出について閣議請議の手続きを行い、これを受けた内閣官房が内閣法制局に対し同請議案を送付し、内閣法制局は、最終的な審査を行い必要であれば修正のうえ、内閣官房に回付します。

●政策決定での政党の役割

それでは、法案作成において、政党はどの様に関わるのかを説明します。

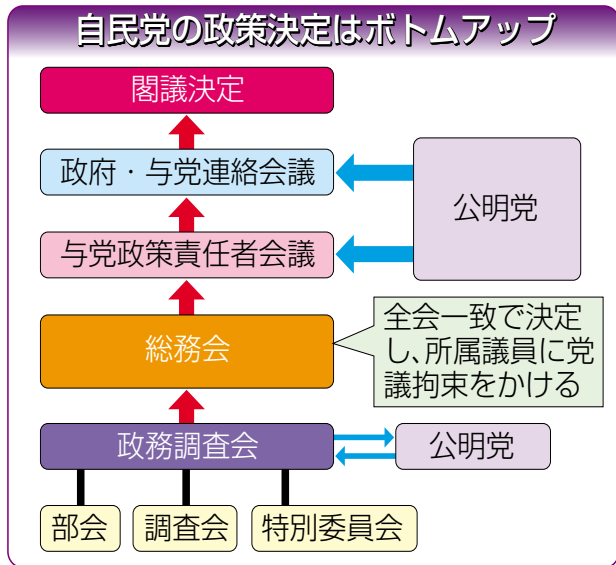
日本は議院内閣制であり、内閣は政権の座についた政党(与党)で組織されています。自民党は、政策として採用する議案は政務調査会の議を経て、党の議決機関である総務会の承認を得た上で国会に提出します。つまり、国会の審議を受ける前に与党の審議を受ける事になります。政務調査会には、部会・調査会・特別委員会があり、ここで法案の審議が行われます。

部会は、衆参常任委員会に対応する形で設けられています。国会議員には選挙民の代弁機能があるので、部会等で意見を展開し、政策立案を行います。部会等には、自民党の国会議員であれば誰でも出席して意見を述べる事が出来ます。この事を、平場(ひらば)で発言するといいますが、法案決定に一定の影響を及ぼします。自民党税制調査会は、部会からあげられてくる税制に関する議論を含め税制改正に関する法案の審議を行い、我々にとって、関係の深い調査会です。このように、自民党において、部会等、政務調査会、総務会の議を経る事になります。

公明党も、政務調査会の中に部会等も設けており、政務調査会・中央幹事会で議決を行います。

●法律案の閣議決定

その後、与党政策責任者会議・政府・与党連絡会議を経て、内閣に提出する法律案を閣議決定することになります。そして、内閣総理大臣からその法律案が国会(衆議院又は参議院)に提出されます。



目次

焦点	1
法律ができるまで～その2～	2
堺市長選挙～推薦候補者が当選	3
後援会ニュース	3

支部連ニュース	5
近畿税理士政治連盟役員一覧	8
かんさいすずめ	10
銀河系	10

堺市長選挙 推薦候補者が当選

堺市長選挙が、平成25年9月15日告示、9月29日投開票により施行された。

本部では、第1回推薦審査会を9月6日に開催し、大阪府第5支部連より堺市長選挙推薦候補者として報告のあった、現職の竹山修身(たけやまおさみ)氏(自民党・民主党推薦)について「首長選挙における推薦基準」に基づき慎重に審議を行い、堺市長選挙における同氏の推薦を決定した。

選挙にあたっては、支部連・支部において、法定推薦八ガキや電話戦術などの選挙支援が法令違反とならないように十分留意して行われ、投開票の結果、当連盟推薦候補者の竹山修身氏が当選を果たした。

今後、ますますの活躍を期待するとともに、力強く支援していきたい。

首長選挙における推薦基準

平成11年8月4日
総務会決定

1. 被推薦者は、自由主義経済体制下において、税理士制度の発展に寄与し、且つ、相当の効果を期待できるとされる次の各号の一に該当するもので、推薦審査会が特に必要と認めた立候補予定者に限ることとする。
 - (1) 税理士業界に対する貢献が極めて顕著であると認められる首長、または今後、多大な貢献が得られることが確実と認められる者
 - (2) 税理士会の会員で、真に税理士たる使命と信念に立脚した立候補予定者であり、且つ、当選の可能性が認められる者
2. 推薦は、選挙区ごとに1名とする。
3. 推薦は、選挙ごとに本連盟推薦審査会において決定する。

(注) 当推薦基準の適用は、府県知事選挙及び市長選挙に限ることとする。

後援会ニュース

前原誠司後援会

9月10日、ハイアットリージェンシー京都において、税理士による前原誠司後援会の税理士法改正実現に向けての陳情ならびに第9回総会が開催された。

来賓として前原誠司衆議院議員、原綱宗近税政総務会長、奥村和義京都府支部連会長が出席した。



前原議員(左)と村中後援会長

北村光一郎事務局長の司会により開会し、村

中平治後援会長より「本日は前原議員に税理士法改正等について、しっかりと要望する」とあいさつがあった。

次に総会に入り、北村事務局長から事業報告および収支報告がなされた。

原総務会長、奥村支部連会長のあいさつの後、村中会長から、税理士法改正実現に向けての陳情書ならびに平成26年度税制改正に対する要望書が前原議員にしっかりと手渡された。

続いて、前原議員が「安倍政権に対して構造改革・成長戦略を促すよう要求していく」と国政報告を兼ねたあいさつをした。

その後、懇親会に移り、前原議員も参加して各テーブルの会員らとゆっくり時間をかけて懇談し、会員からの質問に対しても丁寧に受け答え、一同終始和やかに歓談した。

最後に、林伸三郎後援会幹事長の「是非また二大政党の復活をめざしていただきたい」という力強い閉会のことばをもって、懇親会は盛会のうちに散会した。(東山支部 藤原俊文)

大塚高司後援会

9月19日、豊中市のホテルアイボリーで税理士による大塚高司後援会第6回定期大会が開催された。

来賓として、大塚高司衆議院議員、細谷陸雄近税政副会長、松尾康弘大阪府第3支部連合会会長、近税会豊能支部より大西尚史支部長、安積重和副支部長、高砂昭宏副支部長、光成創副支部長、守部浩二副支部長、和田秀幸副支部長、税理士による原田健治後援会田中啓允会長が出席した。



森田茂稔後援会長の開会あいさつの後、細谷副会長、松尾大阪府第3支部連合会よりあいさつがあった。

細谷副会長からは、現在、税政連が行っている税理士法改正に向けての活動内容について説明があり「使命が異なる弁護士や公認会計士に自動付与されている税理士資格について関係者等の意見も聞きながら、会計や税務に関する専門性を問う能力担保措置を講じる必要がある」と述べられた。

その後、吉本英明会員が議長に選出され、議事に入り全議案が原案通り可決承認された。

続く懇親会においては、大西豊能支部支部長よりあいさつがあり、森田後援会長から大塚議員に対して税理士法改正を含む税制改正に関する要望書が手渡された。

懇親会は和やかな雰囲気の中時間が進み、盛会のうちに閉会した。

(後援会寄稿)

藤村修後援会

税理士による藤村修後援会の第5回定期大会が、9月25日に江坂セントラルホテルで開催された。

来賓として藤村修前衆議院議員、近税政から雪松弘副会長、上西通氏吹田支部長が出席した。



小畑邦和会員の司会により開会が宣言され高橋勝彦会長のあいさつがあり、昨年の国会議事堂と首相官邸訪問の思い出や、先の選挙のこと等について話があった。

続いて、藤村前議員による国政報告会があり、在職時での経験による内閣官房長官の職務職責について、内閣府における主要な仕事は国家の危機管理であり、その諸事案を統合すること、及び閣議の調整、予算の大臣折衝における調停を行うこと等についての話があり、さらに今秋には官房長官時代の日々を綴った本を出版の予定であるとの話があった。

その後、米田益男幹事長が議長に選出され議事にはいった。

上程された議案が可決承認された後、追加議案として、藤村修後援会の解散案が上程され可決承認された。

来賓として雪松副会長より、後援会解散にあたっての想いや税理士法改正等について報告があった。

引き続き、最後の懇親会を開催して会員が話に花を咲かせ、おしまれつつ散会した。

(吹田支部 石井碧八)

松浪ケンタ後援会

税理士による松浪ケンタ後援会第5回定期大会が、9月27日、高槻市民会館で開催された。

来賓として、松浪ケンタ衆議院議員、協阪説男近税政組織委員長、松尾康弘近税政大阪府第3支部連会長、原田憲治後援会田中啓允会長が出席した。



皆元利一後援会副会長の開会宣言の後、長井良明後援会相談役が、議長となり議事に入り、

熱心な議論の末、平成24年度運動経過報告及び収支報告がなされ、平成25年度運動方針及び事業計画並びに収支予算が可決承認された。

議事に続いて、谷丸八郎後援会会長が、日本税理士政治連盟の最近の活動状況について報告を行った。

次に松浪議員から、国会改革に取り組んでいる現在の活動について報告が行われた。また日本維新の会で、自民党、民主党のどちらにも足りない部分に取り組むことの重要性が語られた。

続いて来賓者紹介が行われ、協阪組織委員長から、来賓代表として祝辞があり、合わせて税政連に対する協力、会費収納率向上のお願いがあった。

最後に皆元後援会副会長の閉会あいさつを経て定期大会は閉会した。

大会終了後に行われた懇親会では、松浪議員と出席者が和やかに懇談を深め、盛会のうちに閉会した。(茨木支部 中西勝也)

支部連ニュース

大阪府第5支部連

大阪府第5支部連定期大会が、9月6日にホテルレイクアルスターアルザ泉大津にて開催された。

来賓として北側一雄衆議院議員、田達満近税政政策委員長が出席した。



竹内芳彦 前支部連会長

司会の森敏則支部連副会長が開会を宣した後、竹内芳彦支部連会長より前年度の選挙結果及び税理士法改正への期待のあいさつがあった。その後、呑海英治会員が議長に選出され、

議案審議に入った。議案説明がなされた結果、第1号議案から第5号議案の全てについて原案通り可決承認された。

続いて、幸野陸紀新支部連会長より新体制で任期をまっとうすることへの決意表明があった。次に来賓の田政策委員長より、弁護士・会計士への税理士資格自動付与廃止を含めた税理士法改正の現状及び成立に向けての陳情に全力をあげていく内容のあいさつがあった。その後、谷口昇一郎支部連副会長より閉会のあいさつがあり大会が終了した。

引き続き原正人支部連副会長の司会で始まった懇親会では、幸野新会長のあいさつと高岩弘至新支部連幹事長のあいさつがあった後、北側議員のあいさつがあり、大谷勝明新支部連副会長の乾杯の後、和やかな雰囲気のもと懇親を深め、吉田英明新支部連副会長の中締めにより盛会裏に閉会となった。

(泉大津支部 石谷秀志)

兵庫県第3支部連

兵庫県第3支部連第18回定期大会が、9月5日尼崎市中小企業センターにおいて開催された。

来賓として、鴻池祥筆参議院議員、雪松弘近税政副会長が出席した。



司会の阪上恭一会員の進行で始まり、西浦文彦副会長が開会のあいさつをした。続いて、浦濱勇会長より「支部連の活動に協力いただき感謝を申し上げます」とあいさつがあった。

続いて、清水啓友会員が議長に選任され、総ての議案が、原案通り可決承認され、任期満了に伴う役員改選も全員が原案通り選任された。

議事後、雪松副会長より「税政連の活動への協力を御礼申し上げます。来週、近税政の定期大会がありますが、これに先立ち8月に幹事会等が行われ、いつもの事ながら会費収納率のことが問題になる。今年は広報の機関誌で書道・川柳のコンテストをするなどの工夫をしていただいた。皆様には更なるご協力をお願いしたい」とあいさつがあった。

引き続き国政報告会に移り、鴻池議員に、税制改正要望書が手渡され、鴻池議員は「皆様方のご支援にお礼申し上げます。税理士法改正に向けて私も頑張りたい。また、TPPの問題、国際情勢など、日本の立場を守っていきたい」との基本姿勢と国会での取り組みが述べられた。

その後、懇親会が行われ、盛会のうちに閉会となった。

(西宮支部 森本幸子)

兵庫県第4支部連

9月9日、姫路商工会議所において、兵庫県第4支部連第32回定期大会が開催された。

来賓として、徳富勲近税政副会長が出席した。



西村靖彦 前支部連会長

一井正彦会員が議長に選任され、平成24年度事業報告及び収支決算報告について、西村靖彦支部連会長の説明の後、議案審議に入り、全議案が原案どおりに可決承認された。また、平成25年度事業方針及び収支予算、任期満了による役員改選について、満場一致で原案どおり可決承認された。

続いて西村支部連会長から税政連会費の収納率が下がっているため、各役員の方々から声かけをして頂きたいとの要望があった。また、徳富副会長からは、税理士法の改正が平成13年から改正されておらず、現在12項目に絞って改正に向けての準備に入っているとの説明があった。税理士法改正も、先日のオリンピック招致と同じで、ロビー活動をコツコツとやっていくことが重要という話があった。

そして北条会員より「戸井田徹後援会について長らく大変お世話になりましたが、病気をしてその後リハビリに励んだが思うような回復に至らず政界を引退する事になり、後援会を解散しました」と報告があった。

そして最後に司会者より河田秀雄近税政会長代行のあいさつ文の代読後、三木会員から閉会謝辞が続き、昼食後散会した。

(姫路支部 上野政則)

和歌山県支部連

和歌山県支部連定期大会が9月6日、ダイワロイネットホテル和歌山において開催された。

来賓として岸本周平衆議院議員、石田真敏衆議院議員、細谷陸雄近税政副会長が出席した。



森村透 新支部連会長

堀博充会員の司会により開会し、後安宏彦支部連会長より税理士会と税政連の役割の違い、そして税理士法改正についての現状と今後の取組みについての報告があった。引き続き細谷近税政副会長より、税理士法改正に向けてさらに積極的に活動を行っていくとあいさつがあった。役員改選について可決承認され、新支部連会長に森村透会員が就任し、満場一致をもって全議案原案通り可決承認された。

続いて、岸本議員、石田議員による国政報告会が行われた。税理士による石田真敏後援会設立に際し、略歴が紹介された。両議員より近況報告と超党派で税理士法改正実現に向けて協力する旨の心強い報告があった。

最後に、岸本議員と石田議員へ税理士法改正に関する要望書が後安支部連会長より手渡された。

国政報告会終了後、鶴島幸夫会員の司会により懇親会を開催した。

寺坂雄次会員による乾杯のあいさつがあり、最後に、溝上裕章会員による閉会謝辞の後、懇親会は盛会裏に終了した。

(和歌山支部 小西里枝)

滋賀県支部連

滋賀県支部連の第32回定期総会が、9月6日に大津市の滋賀県立県民交流センターにて開催された。来賓として三日月大造衆議院議員、上野賢一郎衆議院議員、川端達夫前衆議院議員、前川武政近税政国体委員長が出席した。



最初に、大居喜代勝副会長が開会宣言を行った。そして、鈴木勝博会長が「今期は、うえの賢一郎後援会を設立することができ大変有意義な年であった。税理士法改正に向けて与野党議員の連携が不可欠であり、その核となる後援会の活性化と支部連の結束が何よりも大切である。会員の皆様に更なるご理解とご支援をお願いしたい」との旨のあいさつをした。その後、橋本淳会員が議長に選任され、直ちに議事に入った。

平成24年度運動経過と収支決算、平成25年度運動方針と収支予算、役員改選の議案が上程された。各議案について、織戸英信幹事長から詳細な説明並びに提案があり、満場一致をもってすべて原案並びに提案通り可決承認された。

その後、前川国体委員長から河田秀雄近税政会長代行のあいさつ文の代読があり、続いて来賓の方々があいさつをした。最後に伊藤孝夫副会長が閉会宣言し定期総会が終了した。

引き続き開催された懇親会では、鈴木会長が開会のあいさつで、2期目の会長就任の抱負を述べ盛会のうちに散会となった。

(草津支部 竹中 弘)

近畿税理士政治連盟役員 一覽

本部役員

役職	氏名		
名誉会長	宮田義見(茨木)		
顧問	池田隼啓(生野)		
相談役	北野博也(東大阪)	宮口定雄(大淀)	柏木勝志(芦屋)
	赤堀精一(東淀川)	久保直己(大津)	杉上七三夫(大淀)
	辻孝次(豊能)	今中英雄(茨木)	平安弐作(豊能)
	田中勇治(明石)		
会長	大高友紀(宇治)		
副会長	河田秀雄(城東)	雪松 弘(東大阪)	辻井賢博(葛城)
	細谷陸雄(堺)	徳富 勲(明石)	大村恵美子(奈良)
	川本富美雄(東)	杉田宗久(西)	北村善和(下京)
	速水慎一郎(和歌山)		
総務会長	原 綱宗(下京)		
総務副会長	橋本光世(枚方)	上田 実(旭)	
総務	浅田恒博(天王寺)	西田隆郎(大淀)	播本治男(北)
	松本圭一(北)	伊田憲司(伊丹)	芦田和典(北)
	永橋利志(岸和田)	富村将之(下京)	平野隆照(東淀川)
	川口昌紀(和歌山)	相間宏章(東)	若林日出紀(南)
	久保田金次郎(門真)	大西尚史(豊能)	竹内芳彦(堺)
	浦濱 勇(西宮)	新田博之(旭)	河合正美(明石)
	鮎川純利(東住吉)	河南政明(西)	寺坂雄次(和歌山)
	鈴木康夫(大津)	外園善弘(住吉)	仲田むつみ(西淀川)
	松尾康弘(茨木)	石津良行(東大阪)	幸野陸紀(泉大津)
	奥村和義(上京)	竹中征二郎(神戸)	北村光子(明石)
	山陰雅史(尼崎)	西村靖彦(姫路)	山本眞市(葛城)
	森村 透(粉河)	鈴木勝博(水口)	
幹事長	井戸本泰次(天王寺)		
副幹事長	田 達満(住吉)	笹岡憲一(下京)	脇阪説男(天王寺)
	前川武政(大淀)	桑野秀朗(東住吉)	後安宏彦(和歌山)
	旭 輝明(旭)		
幹事	川崎玉樹(住吉)	小寺隆弘(城東)	井筒 潮(東大阪)
	河嶋 達(東)	坂口明久(天王寺)	道廣友厚(枚方)
	室谷澄男(上京)	光永きみ子(芦屋)	青木幸子(奈良)
	杉本和裕(南)	原田 徹(東成)	岩田守生(奈良)
	山川典男(阿倍野)	高岡 稔(東大阪)	大森布美子(枚方)
	小川由美子(生野)	武田泰雄(城東)	矢田善久(上京)
	森本幸子(西宮)	黒田有紀(奈良)	天野香鶴子(旭)
	長谷川博章(葛城)	田中克実(枚方)	中野雅司(住吉)
	土本拓美(西淀川)	伊藤善弘(茨木)	金田光世(東大阪)
	高岩弘至(泉大津)	伊良知弘敏(左京)	寺内設昭(芦屋)
	藤本 晃(明石)	長谷川雅行(尼崎)	北岡 昭(姫路)
	武野勝文(奈良)	刀祢真大(和歌山)	織戸英信(大津)
会計監事	木下雅裕(南)	保泉幸雄(東成)	澤田千博(姫路)

本部推薦審査会構成員

役職	氏名	
会長	大高友紀(宇治)	
委員	河田秀雄(城東)	雪松 弘(東大阪)
	辻井賢博(葛城)	細谷陸雄(堺)
	徳富 勲(明石)	大村恵美子(奈良)
	川本富美雄(東)	杉田宗久(西)
	北村善和(下京)	速水慎一郎(和歌山)
	原 綱宗(下京)	橋本光世(枚方)
	上田 実(旭)	井戸本泰次(天王寺)
	田 達満(住吉)	笹岡憲一(下京)
	脇阪説男(天王寺)	前川武政(大淀)
	桑野秀朗(東住吉)	後安宏彦(和歌山)
	旭 輝明(旭)	外園善弘(住吉)
	仲田むつみ(西淀川)	松尾康弘(茨木)
	石津良行(東大阪)	幸野陸紀(泉大津)
	奥村和義(上京)	竹中征二郎(神戸)
	北村光子(明石)	山陰雅史(尼崎)
	西村靖彦(姫路)	山本眞市(葛城)
森村 透(粉河)	鈴木勝博(水口)	

支部連会長・幹事長

支部連名	支部連会長	支部連幹事長
大阪府第1	外園善弘(住吉)	中野雅司(住吉)
大阪府第2	仲田むつみ(西淀川)	土本拓美(西淀川)
大阪府第3	松尾康弘(茨木)	伊藤善弘(茨木)
大阪府第4	石津良行(東大阪)	金田光世(東大阪)
大阪府第5	幸野陸紀(泉大津)	高岩弘至(泉大津)
京都府	奥村和義(上京)	伊良知弘敏(左京)
兵庫県第1	竹中征二郎(神戸)	寺内設昭(芦屋)
兵庫県第2	北村光子(明石)	藤本 晃(明石)
兵庫県第3	山陰雅史(尼崎)	長谷川雅行(尼崎)
兵庫県第4	西村靖彦(姫路)	北岡 昭(姫路)
奈良県	山本眞市(葛城)	武野勝文(奈良)
和歌山県	森村 透(粉河)	刀祢真大(和歌山)
滋賀県	鈴木勝博(水口)	織戸英信(大津)

大阪府連合会構成員

役職	氏名	役職	氏名
会長	河田秀雄(城東)	幹事長	中野雅司(住吉)
副会長	外園善弘(住吉)	構成員	土本拓美(西淀川)
	仲田むつみ(西淀川)		伊藤善弘(茨木)
	松尾康弘(茨木)		金田光世(東大阪)
	石津良行(東大阪)		高岩弘至(泉大津)
	幸野陸紀(泉大津)		

兵庫県連合会構成員

役職	氏名	役職	氏名
会長	徳富 勲(明石)	幹事長	寺内設昭(芦屋)
副会長	竹中征二郎(神戸)	構成員	藤本 晃(明石)
	北村光子(明石)		長谷川雅行(尼崎)
	山陰雅史(尼崎)		北岡 昭(姫路)
	西村靖彦(姫路)		

本部7委員会構成員

Table with 8 columns: 政策委員会, 財務委員会, 組織委員会, 国対委員会, 選対委員会, 広報委員会, 後援会対策委員会. Rows include 担当副会長, 委員長, 副委員長, and various regional members (大阪府, 兵庫県, 奈良県, 和歌山県, 滋賀県).

支部長・支部幹事長

Large table listing regional branches and their leaders. Columns include 支部, 支部長, 支部幹事長. Rows are organized by region: 大阪府 (第1-3), 京都府, 兵庫県 (第1-4), 奈良県, 和歌山県, 滋賀県.

お伊勢参り

先日所属支部の研修旅行で、遷宮まもない伊勢神宮にお参りしてきた。「今日は台風の影響で湿った南風が秋雨前線を刺激し、朝から雨、昼頃には激しく降るでしょう」という天気予報士の冷たい声。めげる気持ちを奮い立たせて、黒のスーツにグレーのネクタイという正装をして出かけた。もっとも他の支部会員はみんなリラックスした旅行スタイルだった。



近鉄大和八木駅から特急に乗り1時間ちょっとで伊勢に着く。もし今日がゴルフだったらキャンセルしたいくらいの勢いのある大雨の歓迎を受けた。

まず、お迎いのバスで外宮に向かう。普段はあまりお参りする人も少ない外宮がすでにすごい人波。傘で前が見えない。新しくなった社殿の前で並ぶことおよそ15分、やっと参拝ができた。住所、名前、電話番号を唱えたあと、遷宮のお慶びを申し上げ、早々に次の人に場所を譲ることにした。「豊受大神宮」の剣祓の御札をいただいてバスに戻る。

次は内宮。これがまた凄い人。宇治橋の上は人しか見えない。いつ行ってもきれいな水が流れている五十鈴川は濁流が渦巻き、増水で河川敷は封鎖されていた。

内宮への参拝。ここでも遷宮のお慶びを申し上げる。今日の天、照らして欲しいなあと思いながら、「天照皇大神宮」の御札をいただく。いらんことを願ったせいか、雨がもっとひどくなる。

伊勢神宮はやはり日本人の心の拠り所。礼服はずぶ濡れ、靴の中までぐちゅぐちゅ、でも心は晴々となる。神の御心に触れることができ、水も滴るいい男になれたことに感謝した旅行であった。

(葛城支部 吉田廣彰)

近税政本部のうごき

○第2回正副幹事長会 (10月22日)

- 本部7委員会 委員長、副委員長、委員の委嘱について
- 委員会担当副会長の委嘱について
- 推薦審査委員の委嘱について
- 大阪府連合会、兵庫県連合会会長および同府県連役員の委嘱について
- 名誉会長、顧問、相談役の委嘱について
- その他

○第2回幹事長会 (10月22日)

- 本部7委員会 委員長、副委員長、委員の委嘱について
- 委員会担当副会長の委嘱について
- 推薦審査委員の委嘱について
- 大阪府連合会、兵庫県連合会会長および同府県連役員の委嘱について
- 名誉会長、顧問、相談役の委嘱について
- その他

○第2回総務会 (10月22日)

- 本部7委員会 委員長、副委員長、委員の委嘱について
- 委員会担当副会長の委嘱について
- 推薦審査委員の委嘱について
- 大阪府連合会、兵庫県連合会会長および同府県連役

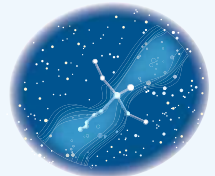
お詫びと訂正

- ①本紙第194号4面左上の大会決議朗読の写真において、「…室谷澄男、太田耕司の各代議員」と表記していますが、正しくは「…太田耕司、室谷澄男の各代議員」です。訂正してお詫びいたします。
- ②本紙第194号12面「大阪府第2支部連」の文中、「仲田むつこ会員」と表記していますが、正しくは「仲田むつみ会員」です。訂正してお詫びいたします。

員の委嘱について

- 名誉会長、顧問、相談役の委嘱について
- その他
- 第2回推薦審査会(書面審議)(11月5日)
 - 多可町議会議員選挙における推薦候補者の決定について
- 第3回広報委員会(11月7日)
 - 平成25年度運動方針及び委員会活動方針について
 - 今後の委員会運営について
 - 機関誌第194号(10月号)の批評
 - 機関誌第195号(12月号)の編集について
 - 機関誌第196号の編集企画に関する件
 - その他

銀河系



最近ブームとなっているドラッカーの本を久しぶりに読んでみた。経営学の理論書などではなく、自述的小説のような「傍観者の時代」である。

裕福なユダヤ系オーストリア人であったドラッカーは、ナチスの危険性を感じていながら、祖国オーストリアが併合されても、また、世界一民主的な憲法をもったワイマール共和国が有名無実化されて、ナチスの国家暴力が牙をむいてきても、社会に対して傍観者であった。

そしてアメリカに亡命したドラッカーは自戒の意味を込めて、傍観者であったことの罪の重さを告白している。

ドラッカーの「傍観者の時代」はわれわれへの大事な教訓であると思う。

(城東支部 武田泰雄)